

## 学術フォーラム 「『責任ある研究活動』の実現に向けて」

1. 主 催： 日本学術会議、独立行政法人日本学術振興会

2. 後 援：文部科学省

3. 日 時：平成 25 年 2 月 19 日（火）14：00～17：00

4. 場 所： 日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）

5. 開催趣旨：

近年、研究活動における不正行為が国内外で問題となる中、諸外国においては「責任ある研究活動」の実現に向けた取組が進みつつある。我が国においても、平成 18 年の日本学術会議「科学者の行動規範」の策定や科学技術・学術審議会「研究活動の不正行為への対応のガイドライン」の策定等を受け、大学等研究機関や研究費配分機関において取組がなされているが、最近の状況を踏まえさらに取組を強化していくことが求められている。

このような中で、日本学術会議及び日本学術振興会は、「責任ある研究活動」の実現に向けた国内外の取組について広く共有するとともに、今後の取組の在り方について討議するため、先進的に取り組む大学及び関係者によるシンポジウムを開催し、研究活動における公正性の確保を推進する。

6. 次 第：

14 時 00 分 開会、主催者挨拶 安西祐一郎（独立行政法人日本学術振興会理事長）、

大西 隆（日本学術会議会長）

来賓挨拶 土屋 定之（文部科学省科学技術・学術政策局長）

14 時 15 分 基調報告 1

浅島 誠（（独）日本学術振興会理事、日本学術会議連携会員）

「我が国における研究活動の不正行為の防止に向けた取組と諸外国の動向」

14 時 35 分 基調報告 2

小林 良彰（日本学術会議副会長）

「研究者の行動規範と研究活動の不正行為の防止に向けた日本学術会議の取組」

14 時 55 分 基調報告 3

斎藤 尚樹（文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課長）

「「研究活動の不正行為への対応のガイドライン」対応状況調査の結果について」

15 時 05 分 事例発表 1

深澤 良彰（早稲田大学理事（研究推進総括・情報化推進）・理工学術院教授、

日本学術会議連携会員）

「早稲田大学における責任ある研究活動への取組み」

15時25分 事例発表2

羽田 貴史（東北大学高等教育開発推進センター教授・大学教育支援センター長）  
「大学教員の能力開発と研究者倫理教育について」

15時45分 事例発表3

市川 家國（信州大学医学部特任教授、Vanderbilt 大学小児科学・内科学・生命倫理学教授）  
「研究者育成の為の行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開（CITI Japan プロジェクト）について」

16時05分 休憩

16時15分 パネルディスカッション

パネリスト：小林 良彰、深澤 良彰、羽田 貴史、市川 家國

コーディネーター：浅島 誠

17時00分 閉会

.....  
【お詫び】

上記学術フォーラムの開催告知及び当日配付資料として使用したチラシにおいて、  
当方の手違いにより早稲田大学研究倫理オフィスのホームページの図柄を事前の了承無く使用しておりました。  
関係の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

.....